



## オーストラリア債券投資のヒント

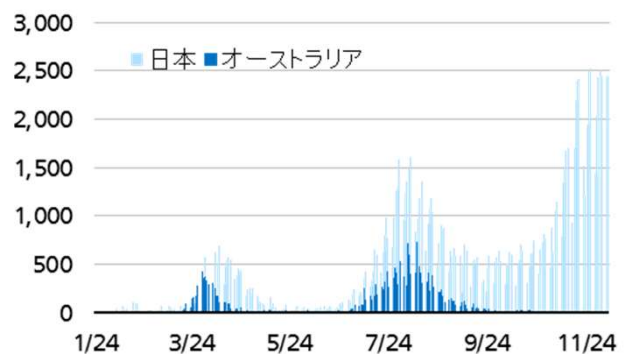
～2021年に向けて、オーストラリア債券投資の魅力を再考～

- 豪州では新型コロナウイルスの感染が落ち着き、景況感が改善する中、RBAは当面は様子見姿勢に
- 豪州国内と中国の景気回復、資源価格上昇などを追い風に、2021年の豪ドル見通しは良好
- 2021年に向けて、財政の健全性、貿易黒字といった相対的な強みも意識されやすく、高格付けで長期の経済成長が見込める豪州債の人気の一助に

### POINT 1 2021年の豪州、コロナ収束で、当面は追加緩和も必要なし

- 夏を迎えた豪州は、新型コロナウイルス感染が落ち着きました。冬到来で感染拡大が深刻な北半球と違い、良い状態で2021年を迎えそうです。
- 感染2波を収束させた連邦政府の対応は再び称賛され、最新の世論調査ではモリソン首相の支持率が60%台に回復しています。
- コロナ収束と順調な経済回復を背景に、豪州準備銀行(RBA)は12月の理事会で、金融政策を据え置き、早期の追加緩和も示唆しませんでした。
- RBAは11月に0.10%への利下げと半年間の1,000億豪ドル規模の量的緩和策導入を決定しており、2021年も様子見姿勢で臨めそうです。

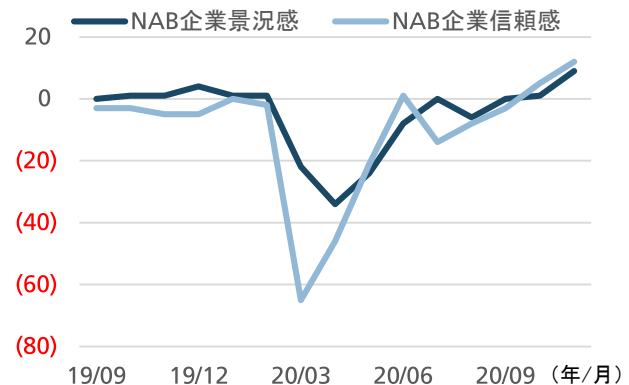
■ 日豪の新規感染者数推移(2020年1月24日～12月9日)



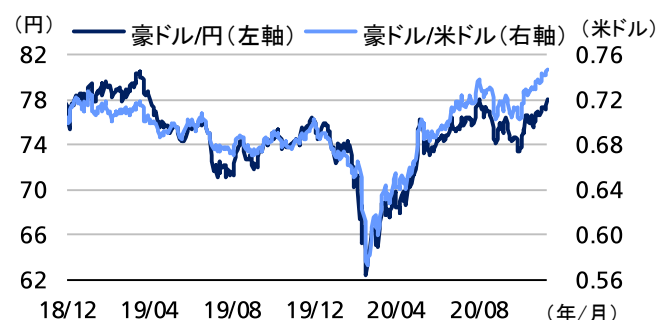
### POINT 2 好調な豪州経済、2021年も豪ドルの上昇基調は継続へ

- 最近の経済指標では、7-9月期GDP成長率が市場予想を上回るなど堅調な数字が目立っています。ナショナル・オーストラリア銀行(NAB)発表の11月の企業景況感指数は前月から7ポイント上昇の9、企業信頼感指数は、9ポイント上昇の12となり、新型コロナ前の今年年初水準と長期平均を上回る水準まで回復しています。
- 貿易においては、中国との関係悪化が懸念されるものの、最近の資源価格の上昇を受け、特に鉄鉱石輸出が貿易黒字を押し上げています。10月の貿易黒字は前月比28%増でした。
- 足元の豪ドルは、新型コロナウイルスの感染収束に伴う豪経済の持ち直しや資源価格の上昇を背景に堅調です。12月に入り豪ドルは対米ドルで0.75ドル台に乗せて2年半ぶりの高値を更新し、対円でも80円に迫りつつあります。
- RBAは、豪ドルの上昇と米ドルの下落をリスクセンチメントの改善と結び付けており、追加緩和は当面打ち止めとみられる中、中国の景気回復継続を受けた資源価格や人民元の上昇基調と共に、豪ドルも緩やかな上昇基調が続くとみえています。

■ 豪企業景況・信頼感の推移 (2019年9月～2020年11月)



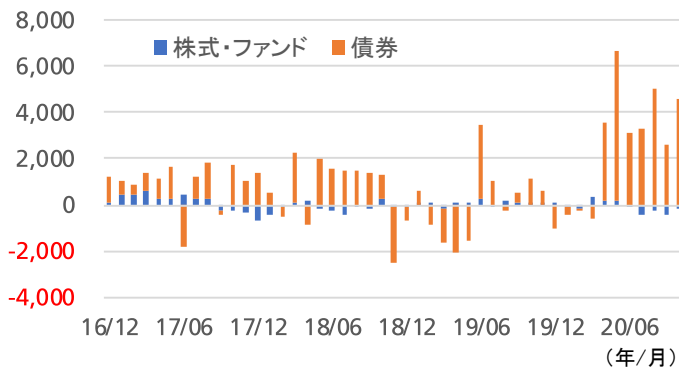
■ 豪ドルの推移 (2018年12月31日～12月10日)



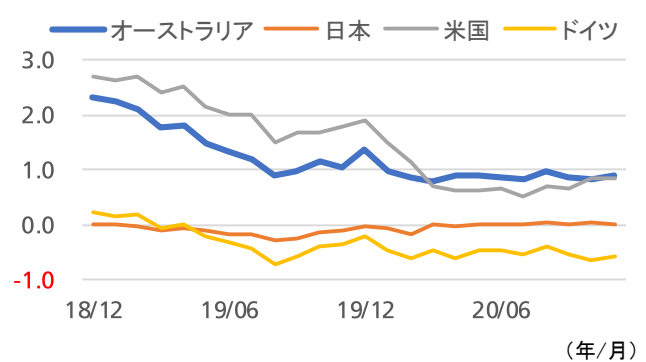
## POINT 3 2021年に向けて高まるオーストラリア債券投資の魅力

- 豪州の長期的な経済成長見通しは良好です。7-9月期GDP成長率が市場予想比上振れ、貿易、建設、小売、自動車販売、住宅ローンの全ての数字が予想以上となったことで、来年以降の経済見通しの引き上げが期待されています。UBSでは、2021年/2022年のGDP成長率予想をそれぞれ4%程度と強気の予想を維持しています。
- 先進国の10年国債金利の中で、豪10年金利は最も高水準です。足元では米10年金利をわずかに上回る水準ですが、両国のコロナ情勢、そして経済・財政面には大きな差があり、これが為替相場での優劣の差となりつつあります。財政の健全性、貿易黒字といった強みにより、高格付けで長期の経済成長が見込める豪州債の人気が見直されています。
- 実際、新型コロナウイルスの感染拡大以降、本邦投資家のオーストラリア向け対外証券投資(図表①)は拡大傾向が続いています。10月も債券投資は+4,607億円と高水準となり、7ヵ月連続の取得超です。
- 図表③は、オーストラリア債券指数(豪ドルベースと円換算ベース)の推移です。豪ドルベースのオーストラリア債券指数は金利収入の積みあがりにより堅調に推移しています。一方、円換算ベースでは、為替変動の影響を受け、豪ドルベースに比べ変動が大きくなっています。しかし、長期で見るとその影響は相殺され、豪ドルベースの上昇に追随していくことがわかります。

【図表①】オーストラリア向け対外証券投資(ネット)  
(2016年12月末～2020年10月末、億円)



【図表②】主要国の10年国債金利推移  
(2018年12月末～2020年11月末、%)



【図表③】過去10年のオーストラリア債券指数の推移(2010年11月末～2020年11月末)



- 円換算ベースの投資は為替変動の影響を受けるものの、長期では概ね豪ドルベースの値動きに追随
- 相対的に高い金利収入の積み上げが豪州債券投資の魅力

出所:財務省 リフィニティブ 豪州債券は、ブルームバーグ・オーストラリア債券(0-3年)指数のデータを使用  
上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆あるいは保証するものではありません。

## コラム 豪州で「後払い」アプリ人気、若者の消費を後押し

- 豪州で「バイナウ・ペイレーター(今買って後で支払う)」を掲げるデジタル決済サービスが人気だそうです。スマートフォンのアプリで使え、無利息で分割払いができ、クレジットカードのような厳格な審査も要らないため、若い世代を中心に支持されています。
- 2008年の金融危機を受け、「ミレニアル世代」(1980年代以降生まれ)はクレジットカードを持つのに抵抗感を覚えるようになったとも言われています。一方で、X(エックス)世代の豪在住の友人は、引き続きクレジットカード決済だそうです。
- 加えて、足元での新型コロナウイルス禍で急拡大した非接触型決済やインターネット通販の流行も追い風となっています。こちらは世代関係なく、デジタル化でオンラインが主流となっているようです。
- 上記のような背景もあり、近年豪州では現金より電子決済を好む傾向が一層強まっていることは確かなようです。オーストラリア準備銀行(RBA)が実施した2019年の調査によると、支払いにカードを利用した割合は全体の63%(デビットカードが44%、クレジットカードが19%)。2016年時点の52%から、11ポイント上昇。一方、現金利用は全体の27%で、その割合は2016年からの3年間で10ポイント減少しています。
- このサービスを提供する最大手「アフターペイ」は、2014年に設立のフィンテック企業で、テンセントなどが主要な株主となっています。同社のサービスには衣類や化粧品などのブランドが加盟しています。
- 仕組みとしては、利用者は商品代金をまず4分の1だけ支払います。残りは2週間ごとに3回に分け、銀行口座から引き落とされます。オーストラリアでは給料日が月に2回あるのが普通で、これに合わせたサービスで、アフターペイには加盟店から利用料が入ります。
- おや、クレジットカードの分割払いと同じなのでは?とお思いになるかもしれませんが、「アフターペイ」では、きちんと毎回期日以内に支払えば利息や手数料を課されることがありません。クレジットカードのように登録に面倒な手続きがなく、それが豪州では喜ばれています。
- つまり、欲しいものを買うようお金を貯めるまで待たなくてもすぐに欲しいものが手に入る、そういった手軽さとリスクの小ささが、オーストラリアでたちまち人気となった理由だそうです。
- NABの調査によると、オンライン売上高が小売売上高に占める割合は新型コロナ前の8%から12%に拡大しています。消費者のオンライン購入拡大、今後は常態化するとみられ、引き続き「後払い」アプリが豪州の消費拡大に貢献しそうです。

UBSアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

＜ご留意事項＞投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面でご確認ください。なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましてはUBSアセット・マネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。＜投資信託のリスクについて＞投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

＜投資信託の費用について＞投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。【直接ご負担いただく費用】・購入時:購入時手数料:上限3.85%(税込)・換金時:信託財産留保額:上限0.3%、【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】・運用管理費用(信託報酬):上限約2.3065%(税込)(ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む)・その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等)をご負担いただけます。※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると判断される情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料で使用している指数等に係る知的所有権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2020. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。